

雨天決行



各地盆踊りの紹介



(順不同)

9:00から 東構口～西構口は車両通行止めになります。

プログラム

雨天時プログラム

イベント会場	本部広場	こやのせ座 (ステージ)	こやのせ座ステージ
大道芸 ・猿まわし ・バナナの叩き売り 他 ※街道を移動しながらどこかで	10:00 消防音楽隊演奏		
	// スタンブラリー受付 (10:00～14:00)		
	10:30 開会式		10:30 開会式
11:00	木屋瀬中学校マーチング東構口出発 続いて部活動紹介		
11:20	木屋瀬宿場をどり (本部前街道)		
11:40 直方の日若踊り	大道芸 ・猿まわし ・バナナの叩き売り 他 ※街道を移動しながらどこかで	・ビバーチェ (エアロビクスダンス) ・木屋瀬小学校学習発表	11:30 ビバーチェ (エアロビクスダンス)
12:00 中間下大隈の里踊り		アマチュアバンドによるライブ (みんなが口ずさめる曲を中心に演奏)	11:45 木屋瀬小学校学習発表
12:20 植木の三申踊り			12:00 アマチュアバンドによるライブ (みんなが口ずさめる曲を中心に演奏)
12:40 宿場をどり子ども踊り	12:30 岡垣ひよっとこ踊り	・伊藤みどり ・上田一樹 ・Afro Needs Songs ・杉山瑞紀 ・アニメライブ内野孝太 (順不同)	・伊藤みどり ・上田一樹 ・Afro Needs Songs ・杉山瑞紀 ・アニメライブ内野孝太 (順不同)
13:00 芦屋のはねそ踊り	13:00 中学校吹奏楽部演奏		
13:20 鐘崎の盆踊り			
13:40 前田の盆踊り			
14:00 神湊の盆踊り			
14:20 野面の盆踊り			
	14:40 宿場をどり練習	15:00 終了	15:00 終了
15:00	綱引き (本部前街道)		
15:30	宿場をどり総踊り (本部前街道)		15:20 宿場をどり総踊り
	15:55 閉会のあいさつ		15:40 閉会式

16:00 東構口～西構口の車両通行解除。

野面の盆踊り 北九州市指定無形民俗文化財 野面盆踊り保存会
 中間の盆踊りの流れを汲むと伝えられ、「夏はぼたる」「奴」「うつつ白浪」があり、移動の際は、じぶたいを先頭に、大傘、踊り手の順で道囃子を奏じます。

中間の盆踊り「下大隈里踊り」 下大隈里踊り保存会
 「下大隈里踊り」には「思案橋」「汐汲み」通称「傘踊り」、「川船」があり、江戸末期に流行した「芦屋歌舞伎」の流れを汲んだ優雅な踊りで二百年以上の歴史と伝統を有しています。

鐘崎の盆踊り 福岡県指定無形民俗文化財 鐘崎盆踊り振興会
 古代より、全国津々浦々に名を馳せた宗像海人発祥の地の盆踊りです。鎌倉時代の「念仏踊り」に起源を持ち、口説きは佐渡方面から、太鼓は能登の輪島から、踊りは南方から海を渡りきたと伝えられ、素朴で躍動感に溢れる踊りです。

神湊の盆踊り 宗像市指定無形民俗文化財 神湊盆踊り保存会
 神湊は古代より、人や物資の行き交う海上交通の要港でございましたが、江戸の幕藩時代には上方商人の廻船が出入りし、大層賑わっていたそうでございます。其の上方は、江州の商人が正徳5年(1715年)頃、旅の無聊を癒す為、土地の若者達に雅やかな京風の手踊りを教えたと言うのが神湊の盆踊りの始まりと伝えられて居りまして、囃し方は唄・三味線・太鼓が中心で「高い山」「大文字」「本調子」「坊主山」と四種類の唄と踊りが御座いますが、何れも情緒深い節回しと優雅な手に踊りが特徴であり、特「大文字」・「本調子」は上方の趣を偲ばせるものと云われて居ります。

植木の盆踊り「三申踊り」 福岡県指定無形民俗文化財 植木三申踊り保存会
 空也上人を始祖とする念仏踊りに、江戸時代、地方歌舞伎の二団として知られた植木役者が歌舞伎・長唄の手振りを加えたものと伝えられ、本手・思案橋とがございます。

直方の盆踊り「日若踊り」 福岡県指定無形民俗文化財 直方日若踊り保存育成協議会
 東蓮寺藩の城下町・直方に伝承される盆踊りで、その昔多賀神社(日若宮)に伝わった日若語・日若舞の流れを汲むと伝えられ、素朴な「思案橋」と優雅な「本手」とがございます。

芦屋町の盆踊り「はねそ」 福岡県指定無形民俗文化財 芦屋町はねそ保存会
 はねそは、天明二年(1782年)に当時日本一といわれた歌舞伎役者・尾上三十郎を大阪から招き、まる一年にわたって伝授されたものであり、はねそとは跳ね裾がつまったものと由来されています。

前田の盆踊り 北九州市指定無形民俗文化財 前田盆踊り保存会
 「みちのく」と「思案橋」があり、明応年間、大内氏に攻められた麻生花尾城兵の戦死者を弔うため、その子孫や村人が踊り始めたと伝えられ、大原女と同様の支度で踊られます。

木屋瀬の盆踊り「宿場をどり」 福岡県指定無形民俗文化財 木屋瀬宿場踊り振興保存会
 享保年間、土地の数寄者たちがお伊勢参りの土産にと習い戻った伊勢音頭に、大名行列共奴の仕草やかけ声も取り入れられたものと伝えられ、「並み手」「みやこ」「本手」とございます。花に踊り月に踊り、雪の宴にも踊られて三百年、今日に至って居ります。

※**駐車場**はウラ面に記載しております。路上駐車はご遠慮下さい。

※雨天の場合は一部プログラムを変更して、こやのせ座で行ないます。

※雨天中止となるイベント…はしご車搭乗体験&地震体験車、中学校マーチング、部活紹介、保育園絵画、フリーマーケット

◎15:30分の【宿場をどり総踊り】はどなたでも参加できますので、一緒に楽しく踊りましょう!